

## はじめに

住宅リフォーム工事に伴う廃材を収集・リサイクルするために、2007年、愛知県常滑市内にあるINAX(当時)の工場の一画に、「エコセンター常滑」を開業しました。

ここでの実績を元に、住宅リフォーム需要の多い首都圏(主に東京・千葉・埼玉・神奈川・茨城)で同じ事業を行うため、茨城県つくば市に「エコセンター茨城」を開業し(2011年6月16日に茨城県産業廃棄物処分業の許可取得)、現在は住宅リフォーム店の協力を得ながら、シャワートイレ、水栓金具などの住宅設備機器類(メーカー問わず)を収集し、リサイクル事業を開始しています。

## エコセンターの活動目的

LIXILは、モノづくりの視点から「つくる」、「つかう」、「もどす」の3つの場面で環境への取り組みを行っています。エコセンターはその中で「もどす」取り組みの一端を担っています。エコセンターは以下の目的を掲げ、活動しています。

- ①住宅リフォーム廃材を住宅関連メーカー自ら収集・リサイクルすることで、住宅リフォーム店へ廃材処理の安心を提供する。
- ②住宅リフォーム時に発生する使用済み住

宅設備機器類他を収集・リサイクルすることで、メーカーとしての社会的責任を果たす(拡大生産者責任)。

③使用済み住宅設備機器類他を自らリサイクルすることで、新商品開発時から製品リサイクル設計を高められるよう、新商品開発部門を支援する。

## 「エコセンター茨城」の活動内容と特徴

## 1. 廃材収集フロー

エコセンターでは、住宅リフォーム工事により発生した廃材を収集運搬業者がトラックで搬送し、そのリサイクルを実施しています。住宅リフォーム店の廃棄物置き場では、廃材のできる限りの分別をお願いし、廃材ではなく「資源」という意識を変える啓発活動を行っています。

## 2. 高いリサイクル率を実現

エコセンターに集められた使用済み住宅設備機器類は詳細に手分解され、50品種以上に手分別されます。結果、90%以上の高いマテリアルリサイクル[\*]率を実現しています。

「エコセンター茨城」では、破砕機・圧縮機の2つの処理施設を備え、分別した廃プラスチック、ガラス・陶磁器クズ、紙などを細かく粉砕したり、減容したりして扱いやすい形に変え、リサ

イクル工場などへ送り、再資源化を進めています。

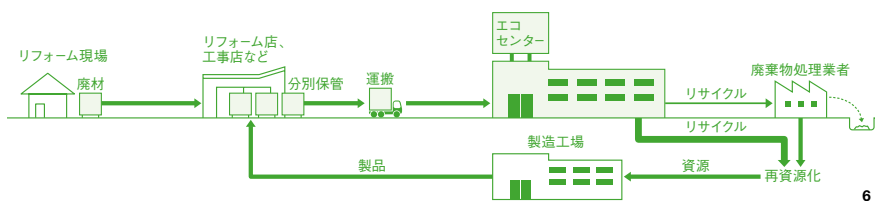
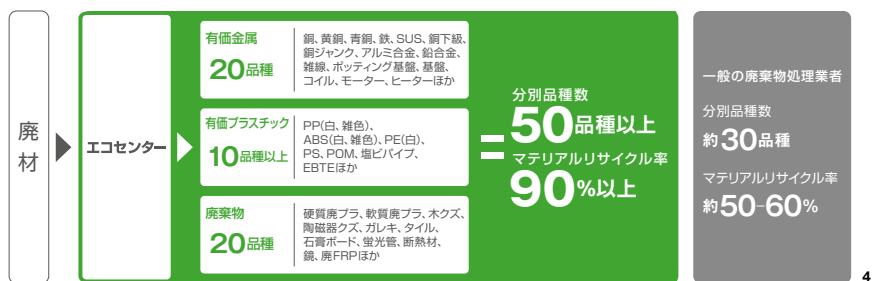
## 3. 製品リサイクル設計の強化を支援

リサイクル活動を実施する中で、自社製品の分別や分解のしやすさなどについて、問題点や改善点を把握することができました。これらを新商品開発部門にフィードバックすることで、新商品開発の段階からリサイクルしやすい商品設計がされるようになってきました。

## エコセンターの今後の活動

LIXILでは住宅内のさまざまな商品とサービスを提供していますが、新築からリフォームへの転換がますます進む中、今後、首都圏エリアの住宅リフォーム店から発生する廃材のうち、シャワートイレ、洗面台、キッチン、浴室扉、浴槽、給湯機器などの水まわり設備機器のみならず、アルミサッシなどにも拡大し、最終的にはすべての使用済み住宅設備機器類の収集・リサイクルを目指していきます。さらにこの取り組みを全国の他地域にも展開し、住宅リフォーム業界に先駆けて住宅リフォーム廃材のリサイクルを推進していきます。

[\*]マテリアルリサイクルは、直接マテリアルに戻すリサイクルで高次元のリサイクル



- 1—シャワートイレの手分解の様子
- 2—自社製シャワートイレの分解写真
- 3—破碎された廃プラスチック
- 4—リサイクル率を示した図
- 5—「エコセンター茨城」の処理施設
- 6—エコセンターの収集・リサイクルフロー図